



No.7 1

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō

Elementary School

<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成29年2月2日

あっという間に1月が去り、いよいよ2月に入りました。「1月は行く、2月は逃げる」と言われます。時間に追われることなく、しっかりと地に足をつけて、何事にも向き合っていかなければと考えています。

さて、今号では、明日に迫ったスケート記録会における子どもたちの様子や大正地区青少年健全育成者協議会の取組や過日開催した全校集会で子どもたちに伝えた内容などを中心にお伝えします。

スケート記録会、迫る！！ ～ 子どもたちの頑張りを、ぜひご覧ください ～



いよいよ明日(2月3日)、スケート記録会を迎えます。子どもたちは、これまで、体育の授業や冬休みなどで培ってきた力を精一杯発揮してくれることを願っています。明日は、平日の午前中の開催となりますが、子どもたちの頑張りをぜひご覧ください。詳しい内容につきましては、各学年から発行される学級通信等をご覧ください。

日程 2校時(及び20分休み) 5・6年, 3校時 1・2年, 4校時 3・4年
種目 5・6年生:100m・500m・1000m・1500m
1・2年生:100m・250m・500m,
3・4年生:250m・500m・1000m

前学年の進行状況を見て準備しますが、保護者のみなさんにお伝えしている滑走時間より前には開始はしません。

講演会『子どもの成長と発達』を開催します。～ 多くの方の参加をお待ちしています～



講師をお願いする中谷 通恵 さん

昨日ご案内しましたように、大正地区青少年育成者協議会主催の講演会が、2月20日(月)に帯広第七中学校図書室で開催されます。講師に『NPO法人子どもメディア北海道』事務局 中谷 通恵さんをお迎えします。

中谷さんからは、子育てのコツやヒントを聴くことができそうです。また、今年も大正地区青少年健全育成者協議会講演会は、参加対象をPTA役員のみ限定せず、多くの方々に広げています。時節柄、お忙しいとは思いますが、一人でも多くの方に参加していただきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

それでは、中谷 通恵さんを紹介しながら、中谷さんの皆さんへのメッセージをお伝えしていきます。

中谷通恵は、函館生まれ苫小牧育ち。北海道教育大学札幌分校を卒業され、小学校教員として6年間勤務されました。退職後、平成2年より白老町に住まれ、育児サークルや子育てのミニコミ誌を通して、全道各地の保護者2000名以上の声を聞いてこられました。平成16年よりNPO法人お助けネットを立ち上げ様々な子育て支援活動を展開されています。また、白老町訪問型家庭教育支援員、NPO子どもとメディア認定インストラクターなどを歴任され、これまでの経験を生かして講演・執筆活動に精力的に行われ、道の公職(北海道子どもの未来づくり審議会委員・北海道生涯学習審議会委員など)にも就かれています。

中谷さんから保護者の皆さんへのメッセージです

「やさしい親がいいの?」「厳しい親がいいの?」「競争心も必要ではないの?」「がまんぶよさって、どうやって育むの?」「ネットは心配もあるけれど、勉強や仕事でも絶対必要な時代だし...」、我が子を愛するがゆえに、悩みはつきません。問いへの答えはひとつではないけれど、「子どもの心の発達段階」の特性を大人である私達が知ることで、子育てのコツやヒントがみつかります。みなさんにお会いできるのを楽しみにうかがいます。一緒に学び合いましょう!

全校児童で考えた！！ ～ 相手の気持ちになるということを ～

先日(1月31日の1校時目)に臨時の全校集会を開きました。ここ数日の間に冬休み作品展に展示してある作品が、複数回にわたってなくなるということがあったからです。なくなったのは、いずれもフェルト生地を使ったマスコット様のものでした。

子どもたちが、冬休み中に一生懸命に作ったものがある日突然姿を消す、あるべきはずのものがなくなる。被害にあった児童には大変申し訳ないという気持ちでいっぱいです。あってはならないことだけに学校としても重く受け止めています。

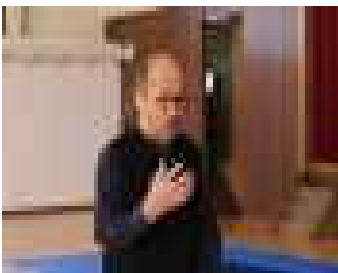
全校集会、その後の学級指導でも、学年に応じて担任からも子どもたちに考えさせています。「被害にあった子の気持ちは?」、「何が悪かったのか」、「今、何をなすべきか」を、また、子どもたちのみならず、私たち職員も自問自答しています。

今後、学校としては、善悪の判断、思いやりなど様々な視点から全校児童に積極的に関わってまいります。ご家庭でも折に触れ、話題としていただくと大変助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

本日まで、冬休み作品展を行っておりますが、子どもたちの作品は、2階廊下に展示しておりますことを申し添えます。

写真で綴るこの1週間 ～ いろいろな取組がありました ～

6年 出前授業(1月31日) "大筆体験教室" ～ 思いを一文字に込めて ～



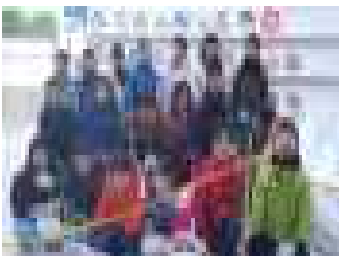
6年生は卒業を3月に控え、恒例の大筆体験にチャレンジしました。子どもたちに向き合っていたいたのは八重柏恵一さん(元帯広柏葉高等学校教諭)です。子どもたちは、体全体で大筆を操り、漢字一文字に各々の思いを託し、一気に書き上げてきました。一人ひとりの作品には、それぞれの思いが込められています。作品は、卒業式当日、会場に飾られます。子どもたちの思いの詰まった大作を是非、ご覧ください。

写真は、体験教室での子どもたちの様子を収めたものです。講師の八重柏先生からレクチャーを受け、筆を持ち全身を使って書き上げていく様子や同時進行で片付け(モップかけ)に勤む様子を写したものです。さすがは、6年生。連携した動きで、2コマという限られた時間内にすべての作品を仕上げることができました。卒業を前に、確かな成長を垣間見ることができ、頼もしく思いました。八重柏先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。

* 今回、体験できなかった児童は、2月24日(金)13:00に再度実施しますので、思いをしたためておいてください。

今年度予定している出前授業も、4年生:樹音 音楽教室(2月13日)、アイヌの人々の文化に親しむ教室(2月21日)、6年生:救急救命教室(3月13日)を残すのみとなりました。これまで掲載してきました出前講座、出前授業は、学校支援地域本部事業、おびひろっ子絆支援事業の一環として行ってきました。今後もタイムリーにお伝えしていきます。

1・2年 氷のお面づくり & 冬の遊び体験学習(2月2日) ～ 冬の帯広を満喫してきました ～



帯広の三大まつりの一つ、「氷まつり」にあわせ、氷のお面を広小路会場に展示してきました。また、今年は、冬の遊び体験として、帯広の森野球場でソリ滑りをしてきました。そこには、寒さを忘れて、元氣よく動き回る子どもたちの姿がありました。

明後日(2月4日)は、土曜図書館開放・土曜あそびの森を開催します。